

甲斐市議会 議会改革特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和6年8月26日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（9名）

委員長	金丸幸司君	副委員長	若尾彰子君
	保坂康君		樋口孝之君
	清水和弘君		滝川美幸君
	小澤重則君		松井豊君
	内藤久歳君		

議長 秋山照雄君

欠席委員（なし）

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書	記	森田公
書記	藤井涼子	書	記	深澤隼人

内容

- (1) 中学生職場体験について
- (2) その他

開会 午後 1時53分

○書記（森田 公君） ご参集、大変お疲れさまです。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに委員長挨拶、金丸委員長よろしく願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 改めまして、こんにちは。

ご参集大変お疲れさまです。また、午前中には総務教育常任委員会もあって、引き続き特別委員会のほうにご出席の方、大変お疲れさまです。

ただいまより議会改革特別委員会を始めさせていただきます。よろしく願いいたします。

○書記（森田 公君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、秋山議長よろしく願いいたします。

○議長（秋山照雄君） 午前中に引き続きまして、審議よろしくお願ひします。

また、本日の議会改革については3点ほど要件があるようでございますけれども、皆様の慎重なご審議よろしくお願ひしまして、議長の挨拶とします。よろしくお願ひいたします。

○書記（森田 公君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては金丸委員長、よろしくお願ひいたします。

○委員長（金丸幸司君） ただいまの出席委員は9名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

それでは、内容に入ります。

（1）中学生職場体験について、事務局より説明をお願いいたします。

森田係長。

○書記（森田 公君） それでは、中学生の職場体験につきましてご説明させていただきます。

資料につきましては、議会改革特別委員会のフォルダー内に入っております。次第に引き続きまして、1ページということで資料をご用意させていただいております。

よろしいでしょうか。

それでは、資料の1ページをお願いいたします。

初めに、中学生の職場体験の受入れにつきましては、前回の議会改革特別委員会で令和6年度につきましては残っている3校、竜王北中学校、敷島中学校、双葉中学校を実施するというご協議いただいたところでございます。

日程につきましては記載のとおり、竜王北中学校が10月22日と23日、敷島中学校が10月29日と30日、双葉中学校が11月13日、14日となっております。なお、対象となります2年生の人数は記載のとおりでございます。

2日間の流れについてということで、この後、皆様からご提案をいただきたいと思いますが、事務局案といたしまして2日間の主な流れについて記載をさせていただきました。

1日目、2日目、まず時間と生徒、内容、対応する議員ということで分けさせていただきました。

まず1日目ですが、生徒は9時に議会事務局へ集合していただきまして、その後、9時30分から学習、11時30分、昼食を挟みまして、1時30分から市に対しての疑問等を作り、3時から質問の作り方、5時終了となっております。

内容につきましては、まず9時に集合していただきまして、開会と自己紹介等を行っていただきます。9時30分からは議会についてということで、軽く議員さんとは何だろうというようなことで勉強会を半日していただきまして、午後の市に対しての疑問等につきましては、生徒自身が思っている意見や提言等を書き出していただく。その後、3時の質問の作り方は、その意見、提言を例えば市にするにはどうしたらいいのか、議員になったつもりで質問書の作り方などを学習していただく。こんなような流れで1日目を過ごしたらどうかというような案をさせていただきました。

対応する委員につきましては、集合につきましては議長と改革委員、その後の勉強等につきましては改革の委員の皆様方に対応をしていただきたいというふうに考えております。

2日目につきましては、同じように9時に集合いたしまして、前日に作りました質問の作り方、また質問書の読み原稿等の作成をしていただきまして、11時頃から質問のリハーサル、昼食を挟みまして、午後1時30分から仮の本会議ということで、実際に生徒が質問席等に立って質疑をするような模擬議会を開催したいと考えております。3時からはまとめとしまして、2日間終えてどうだったかというような意見等を聞いて、4時半頃には終了。

対応につきましては、改革の委員もございますが、本会議等につきましては議員さん方全員に来ていただいて、中学生の意見に対して、議員として答えられる部分があれば答えていただくというようなことを考えております。

今後につきましてですが、生徒が何名来るか分かりませんが、生徒に対してできればマンツーマンで1人ずつついて、講師役を決定していただきまして、全体を通して、議員とは、また議員になる過程や議員になってからの課題等を複数の委員がそれぞれ講師として、いろんな分野で教えていくのはどうかというふうに考えております。

講師については、それぞれ自分がどんなようなことを話するかというのをそれぞれで考えていただいて、資料等の作成をしていただければと思います。

続きまして、④の講師の内容のすり合わせということで、今後、協議をしていきながら10月22日を迎えればなというふうに考えております。

あわせて一番最後に記載させていただきましたが、2日目の仮の本会議であまりにも議員でなく当局側への専門的なものについては、所管の部長の出席等も依頼をした中で回答をしていただくのも経験かなというふうに考えてございます。

それと併せまして、本日、お手元に緑色の表紙の冊子を2部ご用意させていただきました。こちらは甲斐市版の議会を知ってるカイということで、甲斐市の議員さん、議会についての勉強の冊子を作りました。これを基に1日目の9時30分頃からは勉強していただければなということで作りました。

めくっていただきますと、市議会は何をするところなのか、2番目は議員ってどんな人たちがなれるのか、3番目は議会ってどんな仕組みになっているのか、4番目としまして定例会というのはどうやって進むのか、どういうものがあるのか、5番目は委員会って何をするのか、6番目は議場というのはこんなところですよ、7番目は私たちのお願いを聞いてもらうにはどうしたらいいのか、8番目は議会の様子を見たいとき、9番目は過去の議会の様子を知りたいときは、10番目は皆様方の現在の甲斐市議会議員の紹介になっております。

それと併せまして、白黒になっていますが議会の言葉の説明を五十音順で並べて、併せて議会のルールやクイズ等を記載した冊子となっております。

もう一つの別冊につきましては、選挙ってなあにということで、選挙についての詳細を記載したものになっております。選挙にはどんな種類があるのか、選挙までの流れの選挙運動というのはどういうのがあるのか、またどうやって投票するのか、投票が終わった後の開票の仕方など、分かりやすく記載した冊子を作らせていただきました。

もし、よろしければ、こちらを生徒たちに配付した上で、これを基に改革の委員さん方にそれぞれ担当していただいて、生徒さん方に教えていただくというようなことを考えてございます。

事務局からの2日間の流れの案といたしましては以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

前回の委員会で、今年度は3校を受け入れることになりましたが、その内容につきまして皆様にも考えていただくこととしておきましたが、その辺を踏まえて、ご意見等がありましたらお願いいたします。

この件について、ご意見ありますでしょうか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） この体験日程にある人数ですが、大体、この数の生徒が来るのでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） これはあくまでも対象人数でして、この中から5人、多くても10人までは多分来ないと思います。

○委員長（金丸幸司君） よろしいですか。

そのほか、意見ありますでしょうか。

若尾副委員長。

○委員（若尾彰子君） 1日目の流れで、1日目で提案や意見なんか質問書を作るようになっているんですけども、事前に中学生に対してある程度どういったものか、事前学習といたしますか、そういったものは先に、学校側に通知しておくようなことというのは、予定はあるのでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） 基本的に中学校でも職場体験で、どこの企業がどういうことをしているというような事前学習はしてくるようです。もし、質問等で事前にこちらを希望する子にそういうことを出してほしいということであれば、それぞれの中学校にお願いすることは可能でございます。

○委員長（金丸幸司君） 若尾副委員長。

○委員（若尾彰子君） 恐らく何かしらちょっと事前学習しておいてもらわないと、来てすぐに市への、例えば意見だとかというのをなかなか作りづらいと思うんです。なので、自分が今感じているものだとか、学校生活で困っていることだとか、そういったものを少し考えて、何だったら軽く調べておくというようなことは事前にお伝えしておいたほうが、この2

日間有意義に過ごせるんじゃないのかなと思います。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） あくまでも2日間の流れを、事務局からの案ですので、もしこちらの流れのように進めていくということであれば、若尾副委員長の意見を取り入れまして、学校のほうに周知のほうをさせていただくようにいたします。

○委員長（金丸幸司君） よろしいですか。

そのほか、ご意見ありますでしょうか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） この先ほどの参加人数の件だけれども、職場体験だから、あくまでも学校サイドの人数の配分になると思うんだけど、あまり少なくとも寂しいし、ある程度こっちで、学校のほうへ、何十何人ぐらいとか、10人ぐらいとかというふうな要望をやっていくことが必要じゃないかなというふうに思うんだけど、その辺の取組はどうなのか。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） 学校側のほうから受入れお願いしますという際に、一応、最低5人から10人は学校側でもお願いしますということで話はさせていただいております。こちらとしましてもあまり人数が多くなっても委員さん方の負担になりますので、最低でも5名ぐらいはお願いしますということで、3つの学校にはお話をしている状況でございます。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それ準備してあればいいと思うんで、できれば10人ぐらいは来てもいいのかなとは思いますが、議員が十何人いるから、そういうことを考えれば、その辺のところをめぐりに参加してもらおうというようなことで。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） 委員さん方のその旨を学校側に伝えさせていただきまして、10人ぐらいまで受入れは可能ですよということはお伝えさせていただくようにいたします。

○委員長（金丸幸司君） そのほか、ご意見ありますか。

清水委員。

○委員（清水和弘君） スケジュール的に中学生職場体験ということで、ちなみに9時から17時までということなんですけれども、議会はもちろん目的はそこなんですけれども、庁内の見学とかは考えていませんか。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） これはあくまでも私のほうで提案したただの素案ですので、時間の中で最初に9時から9時半の時間帯がありますので、庁舎内の見学とか、そういうようなことを入れるということであれば、その辺の時間を取ることも可能でございます。

○委員長（金丸幸司君） 清水委員。

○委員（清水和弘君） 分かりました。

一応、私としては主なところをちょっと見学してもらったらいいのかなと、そんなふうに私は思います。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） この件、答弁。

森田係長。

○書記（森田 公君） 多分、この時間、かなり余裕を取っていますので、どこかで時間が多分取れるかと思っておりますので、その中で、人数少ないので、公用車等利用しながら施設、バイオマスとかいろいろありますので、見られることがあれば連れていくようなことも考えていきたいと思っております。

○委員長（金丸幸司君） そのほか、意見ありますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） これはどうかと思う部分もあるんだけど、例えば研修に参加した参加者に、例えば市でやっている何かあるじゃんね、やはたいぬのファイルとか、そういうものを参加者にプレゼントするという、そういうようなこともいいんじゃないかなと。来て、研修だけして終わりじゃなくて、多少、そういうお土産を持たせて帰るのも、帰すのもいいんじゃないかなと思うけれども、ほかの企業をやったときに、企業として来たときに、多分、そういうような配慮もしている部分あるんじゃないかなと思うんだよね。そのところを踏まえて、事務局の予算できるかどうか、あるいは余り物を配るといって、10人前後だから、大したあれじゃないから、そういうこともできればちょっと粗品としてお持ち帰りいただくということもいいんじゃないかなというような気がするんですけども、その辺はどうですか。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） 視察を受け入れる際に議員さん方に配付している記念品をお配りしている袋の中にいろいろ入ったものがありますので、同じようなものを中学生にご用意させていただきながら、水とか、そういうもの、何か予算内でできるものがありましたら検討をして、できるだけお土産を持っていただいて、いい思い出になるように考えていきたいと思

ます。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ありがとうございます。事務局に中身は一任するんで、濃いものをプレゼントしてやってください。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） そのほか、意見ありますか。

保坂委員。

○委員（保坂 康君） すみません、昼食はどうするんですか。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） 昼食につきましては、学校側で生徒が用意することになっておりますので、生徒が必ず、参加するとき、どこの企業へ行くにもお弁当を持っていくというふうな条件になっておりますので、生徒自身が用意をいたします。会場のほうは会議室Aでも用意しますので、そこで食べていただくというような形になります。

○委員長（金丸幸司君） そのほか、意見ありますかでしょうか。

よろしいですかね。

松井委員。

○委員（松井 豊君） この時間帯で僕ら対応するんだけど、事前に何か相談とかそういうのはいいのかな。一発で構わんのかどうか。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） 今日、この2日間の流れにつきまして、皆さんにご協議いただいて、決定いたしましたら、もう一度ぐらい9月にお集まりいただきまして、最終的な、どういうふうに誰が、人数等も多分出てくると思いますので、対応していくかというようなことを詰める委員会を開きたいなというふうに思っております。

○委員長（金丸幸司君） ほかにありますかでしょうか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今の事務局の説明の中で、日程と役割分担等、そういう部分の案を、じゃ事務局がつくってくれて、それに委員を張りつけるという流れになるという認識でいいのかな。

○委員長（金丸幸司君） 森田係長。

○書記（森田 公君） はい、そのようにしたいと思っております。

○委員長（金丸幸司君） そのほか、意見ありますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） ないようですので、質疑を終了いたします。

以上で、中学生職場体験についてを終わります。

次に、（２）その他を行います。

初めに、本会議での敬称について、前回、秋山議長より現在の「君」から「議員」への変更をしたい旨の提案がありましたが、皆さんからこの件についてご意見があったらお伺いいたします。

ご意見あるでしょうか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 県下のいろいろ見ると「議員」のほうが多いように見られるんだけど、ただ一般質問の再質問するときに指名するのに「君」のほうが流れがいいような気がするんだよね。再質問するとき、「何々議員、何々議員」というよりか、「君」のほうが響きがいいような気がするので、「議員」という呼び名と「君」と呼び名を分けたらどうかなというような気がするんだけどね。だから、今、言われてしているのは全てを、呼称を「議員」という呼び名にするということなんだけれども、この間、質問を聞いたときに、やっぱり「何々君」のほうがいいのかなという思いが、私は個人的にはします。

○委員長（金丸幸司君） そのほか、意見ありますでしょうか。

秋山議長。

○議長（秋山照雄君） 私のほうも、その件に対してちょっと調べたんですけども、やっぱり女性の議員もいるし、やっぱり女性に対して「君」というのもいかなものかということでもって「議員」という言い方に変えているような議会も数多くあるようでございますので、私も議会を聞いているときにも、女性が質問しているときにやっぱり「君」というのは、ちちょっと反感があるような、反発があるようなことを耳にしていたもんですから、やっぱりこの際「議員」で通したほうがいいんじゃないかという気持ちの中で、今回ちょっと提案させてもらったんですけども、そんなところでひとつ、ご理解をお願いしたいですけども。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それで、たまたまここに２人いらっしゃるので、率直な意見を聞かせてもらって、どうですか。聞いて、率直な意見でいいと思います。

○委員長（金丸幸司君） 順次として、皆さんにお伺いしたいと思います。

まず、若尾副委員長。

○委員（若尾彰子君） 女性の議員への配慮というところ、そういった部分もあるとは思いますが、ですけども、私自身、「君」と言われて、呼ばれてもあまり違和感を感じないんですが、ですがそうはいつでも「君」というよりも「君」といいますと、どうしても男女かわらず上から下というような響きを感じます。でしたら、もうこの際、「議員」というふうに、私たち市議会議員ですので「何々議員」というふうな呼称で読んでいただければ、この先もずっと長く続けていけるんじゃないのかなというふうに思います。

私は変更することに賛成します。

○委員長（金丸幸司君） 次に、清水委員。

○委員（清水和弘君） 男女ともに「君」と呼ばれることのケースも結構あるかと思います。ただし、ここの議員対象に話を進めていくわけですから、これは「議員」という形で統一してもよろしいかなと、私はそう思います。

○委員長（金丸幸司君） 次に、小澤委員、お願いいたします。

小澤委員。

○委員（小澤重則君） 私も「議員」でいいと思います。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 次に、樋口委員、お願いいたします。

○委員（樋口孝之君） 私も今までどおり「議員」でいいかなと思っております。

○委員長（金丸幸司君） 「君」から「議員」へ変えるということなんですけれども。

○委員（樋口孝之君） 「議員」でいいと思います。

○委員長（金丸幸司君） 「議員」でね、変えるということだね。

○委員（樋口孝之君） 変えるということで。

○委員長（金丸幸司君） じゃ、次に、保坂委員、お願いいたします。

保坂委員。

○委員（保坂 康君） やっぱり「議員」でよろしいかなと。そのほうが、もう多分「議員」で1回いったら、多分変わることはないと思いますんで、そのほうがこれから先もいいんじゃないかなというふうには思います。

○委員長（金丸幸司君） 次に、滝川委員お願いいたします。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 私も「議員」でいいと思います。現在、学校教育の中でも先生が生徒

を呼ぶときに「君」は使わなくなっている。全て「さん」で呼ぶということに、ちょっと前にそれは報道がありましたので、そういう時代ですね。「議員」と呼んでいただいたほうがいいような気がいたします。

○委員長（金丸幸司君） 最後、松井委員、お願いいたします。

○委員（松井 豊君） 「議員」でいいです。

○委員長（金丸幸司君） ご意見ありがとうございました。

あと、まとめた結果、皆様のご意見伺ったように、先ほど秋山議長が提案したとおり、「君」から「議員」へというような変更をしたい旨をまとめましたので、このようにしていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸幸司君） それでは、そのようにしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

その他、委員より何かありましたらお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） よろしいですか。

事務局ありますか。

森田係長。

○書記（森田 公君） 事務局から1点お願いいたします。

本日お手元に参考資料ということで、厚生年金への地方議会議員の加入に係る基本的な論点ということで、全国市議会議長会でまとめた冊子を配らせていただきました。こちらにつきましては、平成23年度に議員年金が廃止したことに伴い、現在、議員に年金がございません。それに伴いまして、全国市議会議長会では、かねてから議員に厚生年金への加入をしたらどうかということで呼びかけをしてございます。

一番最後のページを見ていただきますと、現在、地方議会議員の加入を求める意見書の可決状況ということで、全国で約815自治体のうち454自治体、55.7%の市区町村、地方議会から意見書の提出がございます。関東の上から3つ目の山梨県におきましても、現在、13市中、記載後でございます7市が既に意見書の提出をしております。こちらにつきましては、今後の議員の成り手不足等を解消するために向けた取組でもございます。

また、あわせまして、今年度、山梨県市議会議長会13市の目標としまして、先日行われました全議長の会議の中で、秋山会長から今年度、残りの6市についても全て意見書の提出

をして、山梨県100%を目指そうじゃないかというご提言をいただき、13市の議長から賛同を得たところでございます。

つきましては、本市におきましても皆様方にご協議いただきまして、話を進めていただければなというふうに思っておりますので、ご協議をお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

ただいま事務局から説明がありました秋山議長が今年度、山梨県市議会議長会の会長を務めていることもありまして、県としての目標もありますし、また、県内残り6市ですので、まずは内容について各自ご検討いただきまして、次回の委員会でご意見をいただけたらというように思います。できれば12月定例会には結論を出せるようにしたいと思いますが、これについて何かご意見あるでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸幸司君） それでは、そのように進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

そのほか、何か。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） 他にないようですので、以上でその他を終了いたします。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして議会改革特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時20分